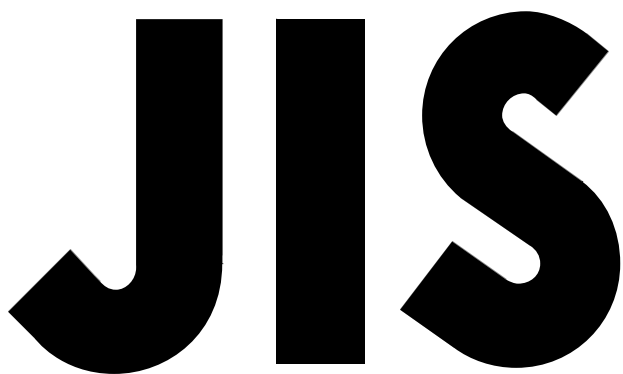




# バーコードスキャナ及び復号器の性能試験方法— 第 1 部：1 次元シンボル

JIS X 0522-1 : 2005  
(ISO/IEC 15423-1 : 2001)  
(JAISA/JSA)

平成 17 年 12 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

|       | 氏名      | 所属                    |
|-------|---------|-----------------------|
| (委員長) | 石 崎 俊   | 慶應義塾大学                |
| (委員)  | 浅 野 正一郎 | 国立情報学研究所              |
|       | 伊 藤 章   | 財団法人日本規格協会            |
|       | 伊 藤 文 一 | 財団法人日本消費者協会           |
|       | 岩 田 秀 行 | 日本電信電話株式会社            |
|       | 大久保 彰 徳 | 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 |
|       | 小 川 義 久 | 財団法人日本情報処理開発協会        |
|       | 笥 捷 彦   | 早稲田大学                 |
|       | 河 内 浩 明 | 社団法人電子情報技術産業協会        |
|       | 後 藤 志津雄 | 株式会社日立製作所             |
|       | 小 町 祐 史 | パナソニック コミュニケーションズ株式会社 |
|       | 関 根 千 佳 | 株式会社ユーディット            |
|       | 田 中 謙 治 | 総務省                   |
|       | 中井川 禎 彦 | 総務省                   |
|       | 中 村 泉 之 | 日本銀行                  |
|       | 成 田 博 和 | 富士通株式会社               |
|       | 平 野 芳 行 | 日本電気株式会社              |
|       | 伏 見 諭   | 社団法人情報サービス産業協会        |
|       | 藤 村 是 明 | 独立行政法人産業技術総合研究所       |
|       | 宮 澤 彰   | 国立情報学研究所              |
|       | 山 本 泰   | 日本アイ・ビー・エム株式会社        |
|       | 山 本 喜 一 | 慶應義塾大学                |
|       | 渡 辺 裕   | 早稲田大学                 |

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 17.12.20

官 報 公 示：平成 17.12.20

原 案 作 成 者：社団法人日本自動認識システム協会

(〒106-0032 東京都港区六本木 3-1-28 オー・エヌ・オー六本木ビル TEL 03-5575-6231)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本自動認識システム協会(JAISA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 15423-1:2001**, Information technology—Automatic identification and data capture techniques—Bar code scanner and decoder performance testing—Part 1: Linear symbols を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

**JIS X 0522-1** には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) 動作要件全般

附属書 B (参考) スキャナの種類

附属書 C (参考) 復号容易度算出の例

## 目 次

|                     | ページ |
|---------------------|-----|
| 序文                  | 1   |
| 1. 適用範囲             | 1   |
| 2. 引用規格             | 1   |
| 3. 定義               | 2   |
| 4. 記号及び略語           | 4   |
| 5. スキャナの分類          | 4   |
| 5.1 1 軸読取範囲図をもつスキャナ | 4   |
| 5.2 2 軸読取範囲図をもつスキャナ | 5   |
| 5.3 3 軸読取範囲図をもつスキャナ | 5   |
| 6. 試験要件             | 5   |
| 6.1 試験方法            | 5   |
| 6.2 試験装置の選択         | 5   |
| 6.3 試験条件            | 5   |
| 6.4 テストチャート         | 6   |
| 6.5 試験装置            | 8   |
| 6.6 試験基準            | 9   |
| 6.7 試験するパラメタ及び試験方法  | 9   |
| 6.8 試験報告書           | 16  |
| 7. 認定書及びラベルちょう（貼）付  | 16  |
| 8. 装置仕様             | 16  |
| 8.1 概要              | 16  |
| 8.2 スキャナ／復号器インタフェース | 17  |
| 8.3 人とのインタフェース      | 17  |
| 8.4 コンピュータとのインタフェース | 17  |
| 8.5 デジタル入出力 (I/O)   | 18  |
| 8.6 プログラム方式及び設定方法   | 18  |
| 附属書 A（規定）動作要件全般     | 19  |
| 附属書 B（参考）スキャナの分類    | 20  |
| 附属書 C（参考）復号容易度算出の例  | 24  |
| 解 説                 | 26  |

# バーコードスキャナ及び復号器の性能試験方法－ 第 1 部：1 次元シンボル

## Barcode scanner and decoder performance testing－Part 1: Linear symbols

**序文** この規格は、2001 年に第 1 版として発行された **ISO/IEC 15423-1**, Information technology－Automatic identification and data capture techniques－Bar code scanner and decoder performance testing－Part 1: Linear symbols を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“参考”は、原国際規格にはない事項である。

**1. 適用範囲** この規格は、バーコードスキャナ及び復号器の性能を判定するために使用する試験装置及び手順について規定する。1 次元シンボルを走査し、復号するための技術に関する要求事項を規定する。一体形読取システム及び分離形読取システムでの、バーコードスキャナ及び復号器を取り扱う。使用される個々の構成要素に影響を受けない特定の構成、例えば、指定モデルの装置性能を規定する。また、**附属書 B** で、スキャナの分類方法及び使用可能なパラメタも定義する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

**ISO/IEC 15423-1:2001**, Information technology－Automatic identification and data capture techniques－Bar code scanner and decoder performance testing－Part 1: Linear symbols (IDT)

**参考** 一般にバーコードスキャナ及び復号器を総称して、バーコードリーダーという。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS Q 9001** 品質マネジメントシステム－要求事項

**備考** **ISO 9001:1994**, Quality systems－Model for quality assurance in design, development, production, installation and servicing 及び **ISO 9002:1994**, Quality systems－Model for quality assurance in production, installation and servicing からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**JIS X 0503** バーコードシンボル－コード 39－基本仕様

**備考** **ISO/IEC 16388**, Information technology－Automatic identification and data capture techniques－Bar code symbology specifications－Code39 が、この規格と一致している。

**JIS X 0504** バーコードシンボル－コード 128－基本仕様

**備考** **ISO/IEC 15417**, Information technology－Automatic identification and data capture techniques－Bar code symbology specification－Code 128 が、この規格と一致している。

**JIS X 0520** バーコードシンボル印刷品質の評価仕様－1 次元シンボル